# しののめＹＭＣＡこども園
# 園 だ よ り

2026年度　11月号
発行者：こども園園長　水澤　聖

**年間聖句**　「互いに愛し合いなさい」
わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。
**１１月聖句**　あなたがたの心を喜びで満たしてくださっているのです。
使徒言行録 14 章 17 節

10 月 10 日、「第 16 回しののめ YMCA こども園運動会」が、雲ひとつない青空のもと開催されました。子どもたち一人ひとりの姿に心を動かされ、私自身も心豊かな一日を過ごすことができました。保護者の皆様の温かい応援とご協力に、心より感謝申し上げます。
運動会では、子どもたちそれぞれに「かがやく時」がありました。その姿を見守る保護者の皆様も、その時にしか味わうことのできない喜びや幸せを感じられたのではないでしょうか。挑戦する楽しさ、できた時の喜び、思うようにいかない悔しさ、そして、仲間や大人に応援してもらう、うれしさ。こうした経験を重ねながら、子どもたちは心と身体を育んでいきます。自分を見守り、受け止めてくれる人がいるという安心感が、新たなことに挑戦し、自分で考える力を支えていくのだと思います。
「人は環境の子なり」という言葉があります。子どもたちの育ちには、家庭や地域、園での暮らしや、そこで出会う人々との関わりが深く結びついています。しののめ YMCA こども園が、一人ひとりにとって安心して自分らしく過ごせる場所であり、豊かな経験を重ねられる場所となるよう、職員一同、子どもたちの心と身体の成長を支えてまいります。
これから、クリスマスを迎える準備が始まります。イエス・キリストのご誕生を心に留めながら、子どもたち一人ひとりが、自分がこの世に生まれてきたことのすばらしさや、愛されている喜びを感じられるよう、日々を大切に過ごしていきたいと思います。

**【園長のひとりごと】**
毎日、こども園の門に立つようになってから、子どもたちや保護者の皆様だけでなく、地域のいろいろな方と挨拶を交わしたり、声をかけていただいたりするようになりました。「こども園の子どもたちの声や姿に、元気をもらっていますよ」と、うれしい言葉をいただくこともあります。
門の前を通るのは、人だけではありません。お散歩中のワンちゃんたちもいます。私は動物が大好きなので、ついつい目で追ってしまいます。最近では、よく通る一匹のワンちゃんが、私と目が合うまで待ってくれるようになりました。目が合うと、「よし！」と言わんばかりの納得顔。私の勝手な思い込みかもしれませんが、なんだか地域の仲間として認めてもらえたようで、うれしくなります。
そんな日々の小さな出会いを通して、地域の皆様に支えられ、子どもたちや保護者の皆様、職員と共に、今ここにいられることへの感謝を感じています。「おかげさま」の気持ちを大切に、これからも門の前で、皆様と笑顔を交わしていきたいと思います。